

平成 28 年度第 2 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 28 年 5 月 26 日 (木) 18:30 ~ 20:00

【場 所】 保健センター

【出席者】 12 名 (15 人中)

役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
会長	佐藤 勝彦	○	委員	小山 玲子	○	委員	中井 健太	
副会長	渡邊 教円	○	委員	今 光 江	○	委員	平賀 敏和	
委員	大内 さつき	○	委員	坂本 悌生	○	委員	前田 和也	○
委員	大黒 利勝	○	委員	柴田 志寿子	○	委員	築田 敏彦	○
委員	小笠原 英史		委員	柴田 肇	○	委員	吉田 美香	○

※正副会長を除き、あいうえお順

本 庁 ~ 企画経済部渉外調整担当 中西課長・吉田アドバイザー

支 所 ~ 西田支所長・熊谷課長

事務局 ~ 高田課長・相原主幹・中村主任

(地域振興課)

地域おこし協力隊 ~ 沼倉隊員

【傍聴者】 2名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 情報交流 (リラックス タイム)
 4. 報告事項
 - (1) 「道の駅」地域説明会の開催について
 - (2) 厚田スポーツセンター廃止検討意見交換会の開催について
 5. 協議事項
 - (1) 地域振興事業の取組みについて
 6. その他
 - (1) 「道の駅」開設準備室からのお知らせ
 7. 閉会

1. 開会

【(厚) 地域振興課 高田課長】

皆さんどうもお晩でございます。開会の前に、今日は所要で平賀委員、それから小笠原委員、中井委員が欠席するという連絡を受けていますので、お知らせいたします。

それでは平成28年度第2回厚田区地域協議会を開会致します。

佐藤会長ご挨拶の方、よろしくお願ひ致します。

2. 会長あいさつ

【佐藤会長】

お晩でございます。

5月になりますと農家の方も漁業の方も皆さんお忙しくなりますね。

桜の花も散って、自然が活発に活動し始めると、どういうわけか人間の活動も活発になってくるものですね。毎日お忙しい日々を送っていると思いますが、忙しいと体も心も疲れる、そういう日々を送りながら、このように定例の時間にお集まり頂いて、また地域のために知恵を出して、汗を流して頂く、大変うれしく思います。

今日も協議事項を座談会に変えて、皆さんの率直な意見を聞きたいと思います。その中でこの地域が元気になるアイデアがたくさん出てくるのではないかと、期待していますので、どうかよろしくお願ひしたいと思います。

3. 情報交流 (リラックス タイム)

4. 報告事項

【佐藤会長】

報告事項に移らせて頂きます。

道の駅の地域説明会が開催されたことと、スポーツセンターの意見交換会が2回開催されていますので、相原主幹の方から報告をお願いします。

【(厚) 地域振興課 相原主幹】

私の方から、5月11日に開催された道の駅地域説明会と、19日に開催されたスポーツセンター廃止検討意見交換会の2点についてご報告させていただきます。

(1) 「道の駅」地域説明会の開催について

5月11日は18:30から厚田保健センターにて41名出席頂きました。この中には今回主催者側の厚田区地域協議会会長を始め、9名の委員の出席を頂いています。

その席上では市町村合併からこれまでの団体の誕生や活動内容、それに関係する複合施設建設構想の検討や道の駅建設に至る経緯。そして実施設計を控え、この時点での建築図面や概要や、今後進められる道の駅運用の手法、また関連して「近説遠来」の実現に向け、着地型観光や体験観光のメニュー化に取り組みたいといった説明がされ、意見交換が行われました。

この中では、エスカレータの設置など人の動線や、他にも直売所に関連してとれの里の例や、大まかな売上げ試算など、意見交換されました。

その際に渉外調整担当が厚田支所に移転したこともあり、今後、様々な話をより具体的に厚田のみならず浜益や周辺町村、地域の皆さんと進めたい、とお話がありました。この説明会の配布資料は市のホームページにも「厚田複合施設・道の駅プロジェクト」として掲載していますので、こちらもお覧頂ければと思います。

(2) 厚田スポーツセンター廃止検討意見交換会の開催について

5月19日のスポーツセンター廃止検討意見交換会については、18:30から厚田保健センターにて行いました。こちらには10名の方の出席をいただきました。

この席上ではスポーツセンター廃止検討への経緯が説明された後、意見交換が行われました。

意見として、駐車場整備や残土処理に伴い施設が取壊されるのは急な話ではないか、プール授業や部活に使用している現状への懸念の声がありました。それに対して、一時的にせよ利用者へ不便をかけるが、代替施設の利用により補完しながら、統合校での設置を念頭にプールを新設したいと説明がありました。

「道の駅」建設も、地域の活性化に不可欠として進めるものであり、可能な範囲で施設充実を図る上で、施設解体と駐車場整備はやむを得ないと考えた中での検討案としている旨の理解を求め、頂戴した意見も踏まえ

最終的に判断するとして閉会しております。
報告としては以上でございます。

【佐藤会長】

ありがとうございます。

報告事項に関して、皆様から何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは協議事項に入りたいと思いますが、今日は地域振興事業の取り組みについて、地域自治会、そういうところにも話がどんどん進んで参りますし、ゆくゆくは皆さんのアイデアを実現していく取り組みにしていきたいと思っていますので、座談会形式で行います。

どのようなご意見を頂いても、日頃考えていることや、或いは地域の方々の考え、そう言うものも含めてここで意見を出して頂きたいと思います。

その前に座談会に関連するため、その他事項を先に報告させていただきます。その他事項として「道の駅」開設準備室からのお知らせからがありますので、吉田アドバイザーの方からお願いします。

5. その他

・「道の駅」開設準備室からのお知らせ

【企画経済部渉外調整担当アドバイザー 吉田氏】

「道の駅」開設準備室からのお知らせについて、ご説明させていただきます。

これまででは、企画経済部の渉外調整担当という非常に分かりづらい名称だったわけですが、12日からこちらの厚田支所に事務所を設けまして、道の駅開設準備室という分かりやすい名称で仕事をスタートさせております。

先ほどの報告事項の地域説明会の中で、道の駅は何をするのかというお話が少し出たと思いますが、これは前回の地域協議会でご説明させていただきましたが、収益事業の物販をどうして行くかという点と、それと観光振興である着地型観光商品をどのようにしていくのかという点について、本日少し詳しくお話をさせていただきますと思います。

物産販売については、道の駅ではオール石狩のものしか扱わない、というのは以前お伝えしたとおりで、3の1の資料のとおり文書を出させて頂いており、商工会さんや漁協さんやJAさんにもお渡ししてしまっていて、各組合員の皆さんにもご案内下さいと依頼しているところです。物産の取り扱いについては、事業者の方と来年に入ってから正式な契約を結ぶ形となる予定です。それ以前の段階でどのような品物があるのか詳細に把握をしていきたいと考えています。それが無いと道の駅の物販コーナーに冷凍庫がどのくらい必要か、冷蔵庫がどの程度必要か、あるいは常温品の棚がどの程度必要か考えるための準備でもあります。このような物販のコーナーでは、1平米当たり10品目の展示が基本となっています。従いまして、道の駅の物販のコーナーは約60平米となりますので、約600品目がオープン時に販売が出来るという形で行きたいと思っています。

多くの事業者の方、或いは個人の方でも、ご自宅で作っている籠みたいなものでもご紹介頂ければありがたいと思っています。

文書上は相談室にお越しく下さい、という形になっていますが、実は逆ですね、私どもが事業者の方のところに直接出向いて、いろいろお話を伺って、また品物を見させて頂く、ということで、実は今週も8社ほど訪問させていただきました。そのような形で進めて行きたいと考えています。

委員の皆様方には、ご自身のところや知り合い、そして地域にこのようなものがあるという情報を寄せて頂ければと思います。より多くの情報を私たちに頂いて、いろいろ調整を進めてまいりたいと思います。

取り扱い条件は委託販売という手法をとります。手数料は常温品であれば、例えば蜂蜜やお菓子類、また生鮮の野菜でいきますと大体17%を考えています。冷凍冷蔵品ですと、少し冷蔵庫冷凍庫のメンテナンス費用が発生しますので、20%ぐらいの手数料でお願いしたいなと思っています。以上が物販のご紹介です。

次に観光振興です。先ほど着地型観光商品と言いましたが、実は北海道観光振興機構という、北海道の中では観光についての大元締めのような組織でありまして、会員数は現在462団体が加入していると思います。石狩市で行きますと市役所や観光協会が加入しています。全道でそのような組織、或いは実際に観光を生業にする会社、例えばホテルや運輸事業者などが加盟している団体でございます。

この北海道観光振興機構は何をやっているかという点、北海道により多くのお客様に来て頂くための大本の戦略の策定や、或いは地域と協力をして着地型の商品開発や、地域で作られた旅行商品を道外或いは海外でプロモーションをするといった役割をしています。

その中で、今般こちらの方からご相談をいろいろしたところ、いわゆる地域協議会で言うところの「近説遠来」を実現するために、機構と協力をしながら着地型の商品作りを行って参りたいな、と考えています。

実は、こういう新しい事業をやるときは新しい団体を作れという話になりまして、厚田地域着地型観光街づくり協議会、というちょっと長い名称になりますが、そういうのを仮称でございまして、立ち上げまして、事業名

を「厚田地域着地型観光町づくり事業」という形で進めてまいりたいな、と考えています。

既にこれにつきましては、観光振興機構に助成金の申請をしまして、総額で年間420万円程度の事業費でやって行きたいと思っています。そのうちの約200万円は観光振興機構に助成をお願いしたい、ということでございます。

具体的にどのようなことをやるかという、まずは地域にあるいろんな資源、観光資源などを掘り起こすことから始めて、お客様に喜んで頂ける観光商品、例えば、農家さんでの農作業体験だとか、或いは漁師さんでの網外し体験、或いは地元食材を使った料理を提供するだとか、或いはトレッキングコースの設定やガイドさんの設定などをまとめたパンフレットを作っていこう、という事業が中に盛り込まれているところです。

とあるタイミングでは出来上がりつつある商品を、実際に旅行会社やマスコミや一般のお客様を連れてきて、体験をしていただいて、その結果を踏まえて、さらにブラッシュアップをかけて、平成30年のオープン時にはきれいに出来上がっている、或いは進化し続けている、というものを作って参りたいと考えています

この最終的な目的は、町に多くの方がやってくるということでございます。もっと泥臭くいうと町に多くの方がやってきて、お金を落としていってもらう、ということになります。ぜひご理解を頂ければと思います。

資料の3の2が、今簡単にご説明した概要になります。3の3以降は、いわゆるそれに向けて協議会的な部分を少し立ち上げたい、こんな形でやって参りたいという部分でございます。いろんな方にメンバーに入って頂きたいと思っていますし、実際にお客様に来て頂く段階になりますと、プレイヤーという方々がいないと成り立たない部分がございます。例えば、ガイドをしていただく方々、或いは料理を提供して頂く方、農家の方、漁師の方、そういったプレイヤーを皆さんから募って参りたいと考えています。当然委員の皆さんもぜひプレイヤーになって頂ければ、と考えている次第です。

それ以降のページについては、少し厚田の観光振興の基本になる考え方を出しています。このプロセスというのは、初年度ゆっくりと色んな資源開発・発掘をやりますが、将来的には外国人がこの町にやってくる、この町で民泊しながら、色んなことを体験しながら、町のおいしいものを食べながら過ごしていただく、人の交流が産まれる、こういった事を最終的には目指して行きたいと思っています。

それと、この事業とかぶる部分がありますが、実はそのほかに従来から少しお話が出ていました民泊と言うものがあります。実際に民泊とは何か、或いはどうすれば民泊を受け入れることが出来るのか、私自身も疑問に思っている部分が非常にたくさんあります。そういった部分について少しセミナーを開催したり、実際に専門の方にアドバイスを頂く、こういった事業を別枠で準備しまして、実はこちらの方も助成金を活用する形となっていて、約110万円が総事業費で、約50万円を北海道観光振興機構に助成を依頼してまして、採択されたという連絡が今日ありましたので、これも併せてご案内します。

詳細についてはまた追ってご案内をさせて頂ければと思いますので、よろしく申し上げます。

【 佐藤会長 】

ありがとうございました。地域振興事業の取り組みについて2点ご報告頂きました。

このあたりにつきまして、皆様方ご質問があると思いますが、次の座談会でこのことも踏まえてご質問して頂いたり、或いはこれをヒントに新たなアイデアを出して頂いたり、また吉田さんには座談会に参加して頂いて、アドバイスも含めてお話を頂けるとしますので、これでその他の部分を終わらせて頂きたいと思います。

この後は座談会でたっぷり意見交換したいと思いますので、よろしくお願い致します。

6. 協議事項

地域振興事業の取組みについて：座談会形式にて協議

7. 次回会議等の日程について

平成28年6月28日(火) 18:30～みなくる

8. 閉会

平成28年6月28日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 佐藤 勝彦